

バングラデシュのLDCからの卒業について

1. LDC(Least Developed Countries)とは

LDC (後発開発途上国) の定義

国連開発計画委員会 (CDP) が認定した基準に基づき、国連経済社会理事会の審議を経て、国連総会の決議により認定された**特に開発の遅れた国々** (バングラデシュは1975年より認定)

LDC認定と卒業

3つの基準により認定/卒業が決定され、3年に1回見直しが実施

LDC認定/卒業3つの基準

基準① 一人あたりのGNI
(国民総所得)

基準② 人的資源開発指標 (HAI)
(健康指標・教育指標)

基準③ 経済脆弱性指標 (EVI)
(外的環境指標・耐衝撃指標)

A. LDC認定条件 (2018年度)

認定 = 以下3つの基準を全て満たす

項目	基準値
一人あたりのGNI (3年間平均, 世銀アトラスメソッド)	\$ 1,025以下
人的開発資源指数	60以下
経済脆弱性指標	36以上

B. LDC卒業条件 (2018年度)

卒業① 以下の内2つ以上の基準を満たす

項目	基準値
一人あたりのGNI (3年間平均, 世銀アトラスメソッド)	\$ 1,230以上
人的開発資源指数	66以上
経済脆弱性指標	32以下

or

② 以下を満たす

一人あたり
GNI
\$2,460以上
(基準値の2倍以上)

バングラデシュのLDCからの卒業について

2. 卒業プロセスについて

国連開発計画委員会による卒業プロセス



バングラデシュの現状/スケジュール (仮)

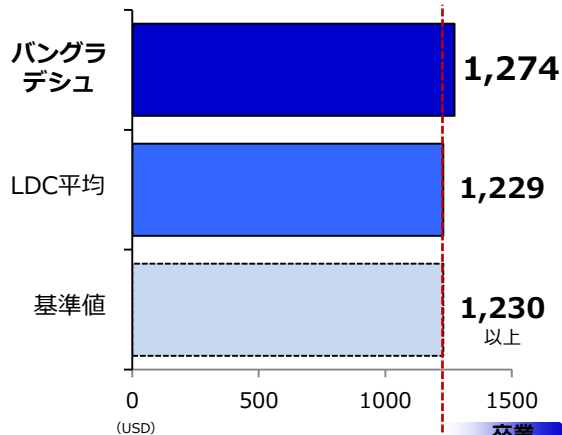


バングラデシュのLDCからの卒業について

3. バングラデシュの現状 (2018年3月21日国連発表資料)

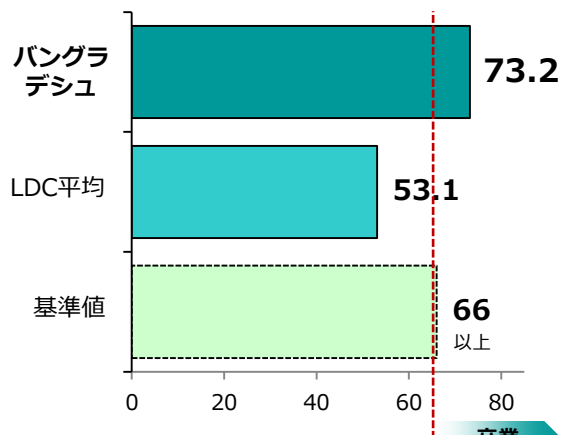
①一人あたりGNI

判定: ○ (前回: ×)



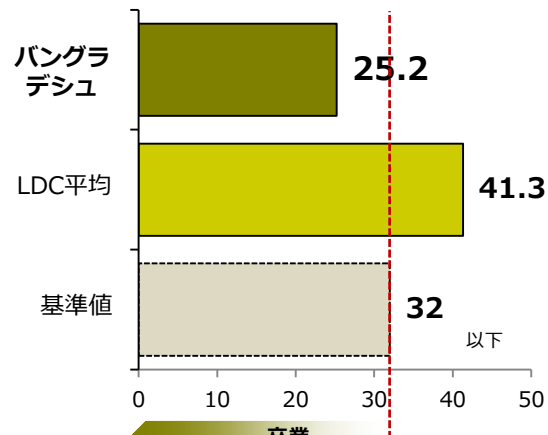
②人的資源開発 (HAI)

判定: ○ (前回: ×)



③経済脆弱性指標 (EVI)

判定: ○ (前回: ○)



2018年評価時: **3項目全てにおいて基準を達成**

政治・経済状況における急激な悪化等がない限り, 2021年時点の
基準クリアで卒業推薦される可能性あり

(2018年春時点の評価でネパールは2回目の基準クリアだったが, 政治・経済状況を考慮して今年度は推薦されず)